



安全データシート

Page 1 of 6

Loctite(R) 603 Retaining Compound Press Fit

SDS No. : 153475

v001.4

改訂: 30. 07. 2015

発行日: 26. 10. 2020

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 231097
製品名 : Loctite(R) 603 Retaining Compound Press Fit

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
皮膚腐食性	区分 1A	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1	
皮膚感作性	区分 1	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性(長期間)	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H335 呼吸器への刺激のおそれ H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置:	P301+P330+P331 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P310 吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物
単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
メタクリル酸系モノマー	>= 40 - < 50 %
メタクリレートモノマー	>= 10 - < 20 %
ポリウレタンメタクリレート樹脂	10 - 20 %
ヒドロキシプロピルメタクリレート	>= 1 - < 10 %
アクリル酸	6.4 %
増粘剤	1 - 10 %
ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル	1.8 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 流水とせっけんでよく洗い流すこと。
医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合：** 多量の水で洗うこと、できるならばぬるま湯で最低でも15分間、まぶたをおさえて眼を開けた状態で洗うこと。
医師の診察を受けること
- 飲み込んだ場合：** 無理に吐かせないこと。
医師の診察を受けること
被災者を安静にしておくこと。
- 吸入した場合：** 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法：** 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。
- 消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末
- 火災時の分解物質：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 保護具：** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：** 皮膚および眼への接触を避けること。
保護具を着用すること。
十分な換気を保つこと。
- 環境に対する注意事項** 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。
- 除去方法：** 廃棄するまで密閉できる容器に隙間を空けて入れ保管する。
不活性な材質のもので吸収する（例えば、砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般的なバインダー、おがくず）。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。
よく換気された場所で使用すること。
皮膚および眼への接触を避けること。
- 保管：** 涼しく、良く換気された場所に保存し、熱、火花および裸火を近づけないこと。
使用準備が整うまで容器はしっかり閉めておくこと。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具:

呼吸用保護具:	換気の良い場所でのみ使用すること。
眼の保護具:	保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	緑色
臭い:	鋭い
pH:	該当なし
融点/凝固点:	該当なし
沸点:	> 149.0 ° C (> 300.2 ° F)
引火点:	> 100.00 ° C (> 212 ° F)
自然発火温度:	データ無し
蒸気圧:	< 400.0000000 pa
蒸気密度:	データ無し
比重:	1.07
n-オクタノール/水分配係数:	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性:	強酸化剤 還元剤
---------	-------------

避けるべき条件	通常の使用、保管条件では安定。
---------	-----------------

危険有害な分解生成物:	刺激性の有機蒸気。 炭素酸化物
-------------	--------------------

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
メタクリル酸系モノマー	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性
メタクリレートモノマー	皮膚感受性	サブカテゴリ1B		
ポリウレタンメタクリレート 樹脂	分類の必要なし			
ヒドロキシプロピルメタクリ レート	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分2A		
	皮膚感受性	区分1		
アクリル酸	急性毒性	区分4	経口	
	急性毒性	区分4	吸入した場 合:	
	急性毒性	区分4	経皮	
	皮膚腐食性	区分1A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性
増粘剤	分類の必要なし			
ポリ (オキシエチレン) =オ クチルフェニルエーテル	急性毒性	区分4	経口	
	眼に対する重篤な損傷 /眼刺激性	区分1		

経口毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 算定方法

吸入毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 20 mg/l
ばく露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
方法: 算定方法

経皮毒性: Acute toxicity estimate (ATE) : > 2,000 mg/kg
方法: 算定方法

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
アクリル酸	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分2
ポリ (オキシエチレン) =オクチル フェニルエーテル	水生環境有害性(長期間)	区分2

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

一般情報

RID, ADR, ADN, IMDG, IATA-DGR において危険品ではない。

15. 適用法令

労安法:

名称等を通知すべき有害物 アクリル酸

消防法

第4類引火性液体, 第三石油類 非水溶性

毒劇物法:

該当しない

PRTR 法:

第1種指定化学物質

アクリル酸

ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル

政令番号 4

政令番号 408

16. その他の情報

発行日:

26. 10. 2020

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

MSDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-1771